

啓発事業の実態についての分析

今野晴貴 NPO 法人 POSSE 代表理事

《報告要旨》

過重労働とハラスメントが未だに蔓延するなかで、専門家と過労死遺族による学生や労働者に対する啓発の重要性は増していると考えられる。しかし、本事業の周知についての課題はこれまでも様々な論者から指摘されており、また、そもそもの実施内容や、実施後の教育効果に対する分析が本事業の検証に必要だと考えられる。

そこで、本報告では厚生労働省の資料などをもとに、本事業の質的(内容)および量的(回数や開催場所)側面から現状を分析し、また遺族が本事業に関わることの重要性について検討したい。

-----

[2024-08-27 版]